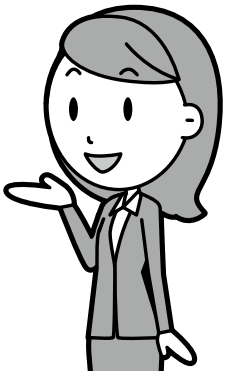
平成27年度決算のあらまし
一般会計は実質8億円の黒字



平成27年度決算は、一般会計と特別会計、企業会計を合わせた総額で、歳入(収入)が818億円、歳出(支出)が796億円でした。

また、市の全ての会計を合わせた市債(借入金)残高は、1,268億円、対前年度比25億円の減になり、市民1人当たり150万3千円、対前年度比1万4千円の減になりました。

《問合せ》財政課☎21-9014

一般会計の決算

一般会計の決算は、歳入が515億円、歳出が505億円でした。歳入には、平成28年度への繰越し事業の財源2億円が含まれているため、これを差し引き、8億円の黒字となりました。

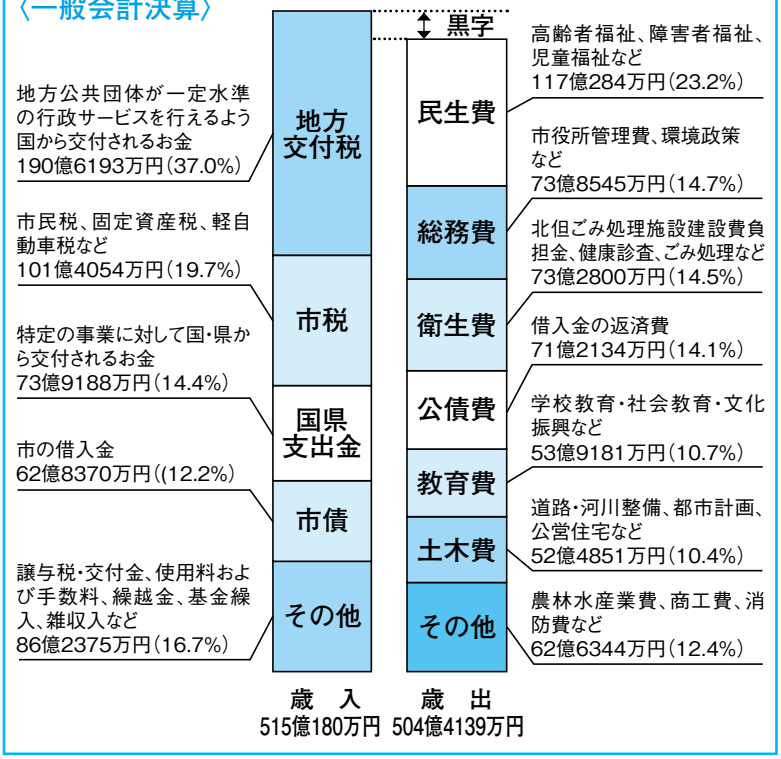
歳入では、地方交付税が最も多く191億円でした。次いで市税が101億円、国県支出金が74億円、市債が63億円と続きます。

歳出では、民生費が最も多く117億円でした。次いで総務費が74億円、衛生費が73億円、公債費が71億円と続きます。

また、市民1人当たりの歳出額は59万8千円、納税額は12万円でした。

一般会計の市債残高は、620億円、対前年度比2億円の減になりましたが、人口減のため、市民1人当たり73万6千円、対前年度比6千円の増となりました。

〈一般会計決算〉



〈会計別決算額一覧〉

区分	歳入	歳出	歳入歳出差引
一般会計	515億180万円	504億4139万円	10億6041万円
特別会計	217億7397万円	212億4967万円	5億2430万円
国民健康保険事業(事業勘定)	112億4420万円	109億4246万円	3億174万円
国民健康保険事業(直診勘定)	1億483万円	9813万円	670万円
後期高齢者医療事業	10億5111万円	10億2824万円	2287万円
介護保険事業	87億838万円	85億5157万円	1億5681万円
診療所事業	2億5152万円	2億2979万円	2173万円
霊苑事業	3億3138万円	3億2514万円	624万円
管理会財産区	280万円	25万円	255万円
太陽光発電事業	7975万円	7409万円	566万円
企業会計	84億9732万円	78億8973万円	6億759万円
水道事業	24億4213万円	22億1464万円	2億2749万円
下水道事業	58億9735万円	55億1857万円	3億7878万円
農業共済事業	1億5784万円	1億5652万円	132万円
合計	817億7309万円	795億8079万円	21億9230万円

公営企業会計の決算

▼水道事業

給水戸数約3万3千戸、給水人口約8万4千人で、普及率はほぼ100%です。決算は2・3億円の黒字となりました。

▼下水道事業

普及率約99%、水洗化済戸数約3万戸、人口約7万8千人で、水洗化率は93%まで向上しました。決算は3・8億円の黒字となりました。

▼農業共済事業

132万円の黒字となりました。共済金の支払額は、家畜共済3342万円、水稲共済510万円、そば共済24万円など、総額3890万円でした。

豊岡市図書館未来シンポジウムを開催

身近で親しみやすい図書館への一歩

9月25日、豊岡市民プラザほっとステージで、豊岡市図書館未来シンポジウムを開催し、130人が参集しました。

○市民アンケート分析報告…集計から垣間見える回答者の意向や傾向などが説明されました。

○基調報告…市立図書館の在り方の検討内容を基に、国内外の事例を交え、図書館の在り方を検討する手法などが示されました。

○パネルディスカッション…それぞれの立場から考えや思いを述べるなど、活発な意見が飛び交いました。

堅苦しいイメージのある図書館の、より身近な施設になる一歩です。

―読書の機会は増加

近年、書籍のインターネット購入や電子図書の登場などで、図書がいっそう身近になり、読書の機会が増加しています。一方で、図書館はその役割を再認識するとともに、新たな手法でのサービス提供を求められています。

―10年後の市立図書館

市では、図書館本来の役割と新たな手法を探るため「豊岡市図書館未来プラン検討会議」を設け、市立図書館の10年後の将来像を「豊岡市図書館未来プラン」としてまとめようとしています。

本シンポジウムは、市立図書館の未来の姿と役割を、市民の皆さんと考える機会の一つとしています。

《問合せ》図書館本館 ☎23－6151

豊岡市図書館未来シンポジウム

◆市民アンケート㊟分析報告

桃山学院大学社会学部准教授　村上あかねさん

㊟市民２千人（無作為抽出アンケート・５月）、来館者（６月）を対象に実施

◆基調報告　図書館が目指すべき方向とは

豊岡市図書館未来プラン検討会議座長／桃山学院大学経営学部教授　山本順一さん

◆パネルディスカッション

図書館は未来への玉手箱　～つなぐ・引き継ぐ・学びの場として～

◇パネリスト

劇作家、演出家、市芸術文化参与　平田オリザさん

図書館利用者　結城紘一さん

豊岡総合高校３年　大北真子さん

暮らしの学校農楽（のーら）代表理事　木村尚子さん

◇コーディネーター

山本順一さん

活発な意見が飛び交ったパネルディスカッション

もったいない川柳応募作品紹介（一般の部、氏名またはペンネーム・敬称略）

戦時中これで育ったくせ抜けず　（初田稜二）

ちょっと待て捨て去る前に再利用　（花岡宏明）

見ちがえたあの着物からこのドレス　（花岡由紀子）

捨てる嫌もったいないと匂いかぎ　（霞舟）

省エネの新型揃えた老夫婦　（林善隣）

古カレンダーもったいないと雑記帳　（原田弘一）

必要性レジに行く前考える　（樋口真由美）

子守役残しもの食べババ太る　（平岡典子）

小食で働き者のエコカ～（母）ちゃん　（平田裕子）

黄門さん倣に腰かけ叱られる　（福井正二）

お徳用買いお徳分腐らせる　（福島敏朗）

残り物一品に変える母の腕　（藤田晴美）

洋服は娘のお上がり若返る　（古川恵子）

仕舞い込みもったいないが忘れがち　（細田一三男）

食べこぼし拾って食べる母の癖　（堀善弘）

食べ残し浪費公害また増える　（松浦哲男）

「もったいない」地球を守り始める日　（松下幸子）

このゴミでいつか我が家が得をする　（松本康平）

リサイクル知恵と工夫で役に立つ　（まあちゃん）

祖父母知るもったいないの真の意味　（眞鍋信二）

命こそ粗末にしては勿体ない　（道）

着脹れし歩く姿は相撲とり　（丸尾カヨ）

電球が壊れたままだほっておく　（丸尾文子）

ありがとう拾う神こそ活きた神　（三浦健司）

エコ心家計あずかる人強し　（としちゃん）

他人から好かれて妻に嫌われる　（三江登）

ケチじゃないもったいないと言う昭和　（三江澄子）

母遺すもったいないを形見分け　（颯爽）

お茶葉で家庭の空気洗浄し　（三木道子）

もったいないみんなで共有この精神　（右田俊郎）

節約は地球を救うあなたです　（水野源夫）

先人の知恵を拝借リサイクル　（UKEA）